45 テーマ別 コミュニケーション

出題傾向 ●資料を用いた、発表・プレゼンテーション・話し合いに関する問題がよく出る。資料を効果的に用いて表現する方法を身につけよう。

標準問題

▲△▲ 中学生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんの四人のグループは、社会のグローバル化が進み海外の人との交流が増えることをふまえて「総合的な学習の時間」に日本人の留学者数などについて調べ、話し合いをしています。次の文章、グラフ1、グラフ2と表は、そのときのものです。これらについて後の問いに答えなさい。〈神奈川改〉

Aさん　グローバル社会を迎え、これから海外の人たちと交流する機会がますます増えてくると思います。そこで、集めたグラフや表をもとに、私たちが意識しなければならないことについて考えてみましょう。まずは、日本人の留学者数は、どのように変化しているでしょうか。

Bさん　グラフ1を見ると、平成16年の八万三千人を頂点に平成23年には五万八千人と日本人の留学者数が大きく減少しているようです。

Cさん　ということは、日本では留学しようと思わない「内向き」の若者が増えているのでしょうか。

Dさん　ところが、そうとも言い切れないようです。平成13年と平成24年とを比較すると、たしかに日本人の留学者数は七万八千人から六万人まで減っていますが、［　　］これは少子化によって調査対象となる若者の人口が減ったことによるものだそうです。

Cさん　なるほど、日本の若者が留学に消極的になっていると言い切れないわけですね。

Aさん　逆に日本に来る外国人の留学生数は、どのように変化しているでしょうか。

Bさん　グラフ2を見ると、日本の高等教育機関における外国人の留学生数は、この十六年間で二倍以上に増えています。これも社会のグローバル化が進んでいる一つの表れと言えるかもしれません。

Cさん　表を見ると、実にさまざまな国々から日本に留学生として来ていることがわかります。国別では、アメリカ合衆国からの留学生が一番多いと思っていましたので、意外でした。

Dさん　傾向として、中国や韓国（かんこく）、ベトナム、ネパールなどアジアの国々からの留学生が多いようです。一口に外国人の留学生といっても英語圏の人たちとは限らないことがわかります。

Bさん　ということは、海外の人たちと交流するために、英語を勉強することはもちろん、英語以外の言葉にも興味を広げておくことを意識しなければならないということですね。

Aさん　そう思います。そこでこうした状況をふまえ、私たちが海外の人たちと交流するために意識するべきことについて、もう少し考えてみたいと思います。

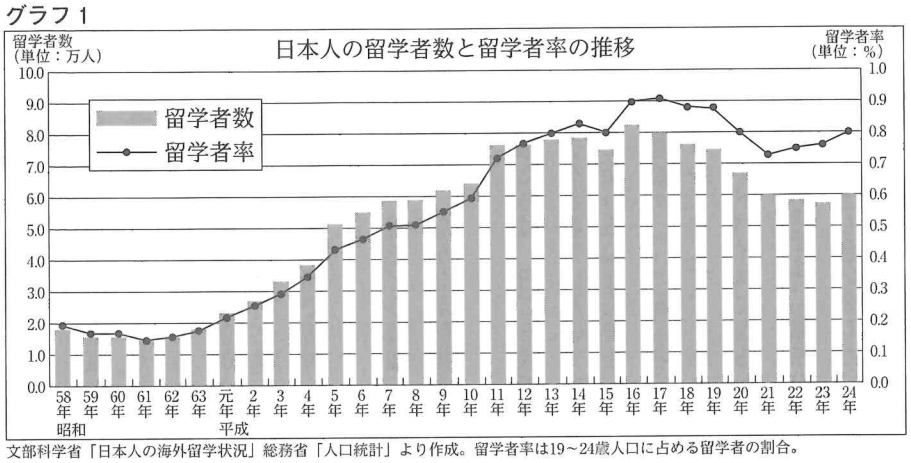
Cさん　私は、海外の人たちにもっと日本のことをよく知ってほしいと考えています。そのためには、交流にあたって私たちが、日本の文化を理解しておくことも必要であると思います。

Dさん　また、国によって文化や価値観が異なるわけですから、そうした違いをふまえて意思を伝え合おうとすることも大切だと考えます。

Aさん　ここまで、海外の人たちと交流するために私たちが意識しなければならないことについて話してきましたが、それぞれの内容については、Bさん、Cさん、Dさんがまとめてくれていたように思います。それらをふまえ、海外の人たちと交流するために必要なことについて改めて整理すると、「私たちは、［　　］意識をもつべきだ。」ということになります。

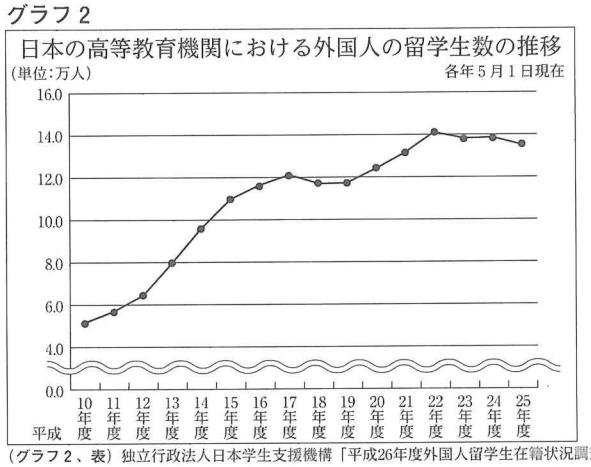
私たちもグローバル社会に生きているということを、もっと受け止めるようにしましょう。

グラフ1



文部科学省「日本人の海外留学状況」総務省「人口統計」より作成。留学者率は19～24歳人口に占める留学者の割合。

グラフ2



表

出身国（地域）別留学生数
（日本語教育機関の在籍数を含む）
平成25年5月1日現在

国（地域）名	留学生数
中国	97,875人
韓国	17,283人
ベトナム	13,799人
ネパール	5,807人
台湾	5,660人
タイ	2,876人
インドネシア	2,787人
マレーシア	2,378人
アメリカ合衆国	2,275人
ミャンマー	1,598人
その他	15,807人
計	168,145人

（グラフ2、表）独立行政法人日本学生支援機構「平成26年度外国人留学生在籍状況調査結果」より作成。

(1)　［　　］に当てはまることばを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　このことで留学者数が約四割減少していることがわかります。
イ　このことで留学者数が約六割減少していることがわかります。
ウ　それにも関わらず留学者率は約二割増加しています。
エ　それにも関わらず留学者率はほとんど変わっていません。

［　　］

(2)　［　　］に当てはまる「Aさん」のことばを、次の❶・❷の条件を満たし、全体で七十五字以上八十五字以内の一文で書きなさい。

❶　書き出しの「私たちは、」という語句に続けて書き、文末は「意識をもつべきだ。」で終わること。これらも全体の字数に入れること。
❷　「意識しなければならない」三つの点に触れていること。

私	た	ち	は	、				

75

アドバイス

話し合いの様子を扱った問題では、まず話し合いのテーマを押さえる。そして、そのテーマについて、それぞれの参加者がどのような立場で発言をしているかを捉えよう。「司会」の存在も重要である。進行役である「司会」は、他の参加者の発言を要約したり、議論の要点をまとめたりしながら、話し合いの流れを作る。「司会」が誰かがはっきり書かれていなくても、発言の内容から「司会」の役割を務めている参加者がわかることもある。「司会」の役割は、よく問われるポイントである。

話し合いに資料が用いられている場合には、資料を正しく読み取る力も必要になる。参加者が、資料のどこに着目して発言しているのかを読み取ることが重要である。話し合いの流れと、資料から読み取れる事柄を、対応させながら読んでいこう。

発展問題

▲△▲ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。〈宮崎〉

学習委員会では、生徒集会において一年生向けに学習のアドバイスをすることにしました。次は、学習委員長の本村さんが進行をした学習委員会での話し合いの様子です。

〈話し合いの様子〉

本村　まず、一年生から率直な意見を聞きたいのですが、中学校に入ってからの勉強はどうですか？

今田　やっぱり小学校のころと比べると、授業の内容が難しいです。

深川　部活動と勉強の両立がうまくできるか不安です。

松岡　勉強したことをすぐ忘れてしまって、なかなか頭に入りません。

本村　みんな、勉強面で苦労しているみたいですね。では、家での勉強はどうですか？

深川　家では、何をどう勉強していいか分からないので、困っています。

松岡　だから、なかなか勉強する気が起きないし、集中もできない気がします。

今田　先輩たちは、日ごろ家で勉強するときに、やる気を高めるために何か工夫をされているのですか？

本村　みんないろんな工夫をしていると思うけれど、せっかくだから、学習委員会の二・三年生でそのアイディアを出し合ってみてはどうでしょうか。そして、それを生徒集会のときに紹介すれば、一年生向けのよいアドバイスになるかもしれないですね。

次に、学習委員会では、「勉強のやる気を高める工夫」について、カードを使ってアイディアを出し合いました。そして、本村さんはその話し合いをもとに発表用の原稿とスライドを作成しました。

資料1は学習委員会で出されたアイディアを整理したもの、資料2は発表の参考にした本の一部、資料3は本村さんの発表原稿とスライドの一部です。

資料1　アイディアを整理したもの

勉強のやる気を高める工夫

整理する

- 覚えやすいように色ペンで書いたり、線を引いたりする。
- 勉強する前に机のまわりを片づける。

A

- 遊ぶときは遊び、勉強するときは集中して勉強する。
- 暗記するものは短時間で、じっくり考えるものは多めに時間を取る。

関連づける

- これまで学習したこととつなげて勉強する。
- 自分の興味のあることと結びつけて勉強する。

- 友達と教えあったり、問題を出しあったりする。
- 簡単なところから勉強する。
- 自分の目標を見えるところに掲示しておく。

資料2　発表の参考にした本の一部

私たちは勉強する内容量が少なければ少ないほど楽だと考えがちです。でもそれは、お互いに関連をもたないバラバラの内容をやみくもに頭に詰め込もうとする場合なのです。一方、関連をもつ内容を結びつけながら学習すると、勉強する量は増えますが、そのことによってしっかりした勉強になるのです。（中略）学ぶということは、ある知識が、それまでもっていた別の知識と結びつくことだということを見てきました。そしてこれは、楽しく勉強するための大事なコツでもあるわけです。

〈麻柄啓一（まがらけいいち）「じょうずな勉強法」による〉

資料3　発表原稿とスライドの一部

私たちは「勉強のやる気を高める工夫」を三つのキーワードでまとめました。それは「整理する」「［A］」「関連づける」です。

まず、「整理する」についてです。みなさんが勉強する机は、普段どんな状態ですか？　教科書やマンガが雑然と置いてありませんか？　目の前にいろんなものが置いてあると、どうしても気が散ってしまいます。まずは、身のまわりをきれいに整理してみましょう。まわりがスッキリすると、心もスッキリして、勉強のやる気も出てくるはずです。



次に、「［A］」です。たとえば、これは遊ぶときは思いっきり遊ぶけれど、勉強をするときはしっかり勉強するというものです。遊びたい気持ちをがまんして無理に勉強しても、なかなか集中できません。そんなときは、あらかじめ遊ぶ時間を決めて、ある程度遊んでから勉強に取り組むとよいでしょう。そうすれば、やる気も効率もアップします。



最後に、「関連づける」です。実は、これは麻柄啓一さんの「じょうずな勉強法」という本にも紹介されていて、

［B］

と述べられています。たとえば、

［C］



(1)　〈話し合いの様子〉の中で、本村さんはどのように進行をしていますか。その説明として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　一年生の発言を受け止めた上で、話し合いを方向づけている。
イ　一年生に発言の意図を問いながら、問題意識を共有している。
ウ　一年生に発言を求めつつ、具体例を挙げて話題を広げている。
エ　一年生の発言の違いを明らかにして、話題を焦点化している。

(2)　資料1・資料3の［A］に共通して当てはまる言葉を十字以内で書きなさい。

(3)　資料3の［B］に当てはまる言葉を、資料2の文章で対比されている内容を利用して、六十字以内で書きなさい。

(4)　資料3の［C］に当てはまる文章を、あなたならどのように書きますか。「関連づける」ことの具体例とその効果を挙げて、七十五字以内で書きなさい。

アドバイス

近年、コミュニケーションに関する設問では、「話し合いの様子」「発表原稿」「インタビュー」などの題材を、二つ以上組み合わせて出題している場合が多い。また、ほとんどの場合、グラフや図、表などの資料が付いている。設問文、題材、資料、それぞれの関係を押さえ、必要な内容を適切に読み取ろう。